

# ◇ R6 年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立老上まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,741,320円		17,116,715円	消耗品費がSSD取付の為、膨らんだ以外は、ほぼ予算内で収まった。修繕費は、追加措置頂いた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
施設HPアドレス	<a href="http://www.machikyoku.jp/oikami/">http://www.machikyoku.jp/oikami/</a>			2年目	17,739,000円	17,125,173円	センター閉館の影響もあり、賃借料・使用料ならびに消耗品費が減少した。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定管理者名	老上学区まちづくり協議会			3年目	17,872,000円	16,900,590円	年度当初、職員体制が十分確保できなかったため、人件費で大幅な差が出た。夜の貸館が増えたため、シルバーへの委託料が増えた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日			4年目	17,872,750円	17,652,845円	8月より公用車をリースしたことにより賃借料が増え、今後同じような予算建てが必要。水道光熱費が予算より大幅に下回った。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			5年目	18,091,000円	18,178,312円	社会的な物価高が、業務委託料や水道光熱費に影響していたように思われる。センター講座の開催が多くなり、謝礼出費が多くなってしまった。	誰もが気軽に立ち寄り、交流や学びの場となるよう、開かれた施設の運用に努める。

## ●総合評価の基準

5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

## ○その他の項目

公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	用開始と同時に指定管理者制度を導入

## ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
R6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
<p>昨年度のコロナ感染症の5類への移行や、駅前の宅地開発による大幅な人口増を踏まえ、地域ニーズを把握しながら、利用者増へ向け必要な対応に努める。</p> <p>昨年度のセンター外壁工事が完了し、特に大会議室雨漏りへの心配事は解消したが、センター内部の各所の老朽化に伴う不都合が発生した場合、早めに対応を心がける。</p>		<p>地域の特色やニーズに合わせた事業展開を行い、センターの利用者増加に繋がられた。また、ラインでの情報発信やサイネージの工夫、防災ネットワーク等にも注力され、地域での活動を様々な人に知っていただくことができた。</p> <p>職員研修も多く参加され、職員の資質向上にも努められた。</p> <p>そして、定期的な清掃に加え、美化月間を設けて施設の適切な衛生管理が行われていた。今後もよりよい施設運営に努められたい。</p>	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
<p>アンケート結果「和室の畳替え」の要望を受け、梅雨の合間をぬって表替えを行い、利用者には好評であった。外壁工事が終了し、雨漏りの心配が無くなったが、他にも老朽化による修繕の必要な箇所が今後も見受けられた場合、安全第一を優先に、それぞれに優先順位をつけながら修繕の中で対応していきたい。</p>		<p>(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等))</p> <p>地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。</p> <p>(利用者数の状況等)</p> <p>地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。</p>	

◇施設に係る主な指定管理業務
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。</li> <li>・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。</li> </ul>

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設の管理運営に関する業務				
評価項目 1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	定期的な貸館申請が必要な団体の対応について、諸事情による申請漏れなどが利用日以前に散見された場合、電話等によって利用確認を行い、申請が必要な団体においては、手続きを行っていただくなど、規程に沿った貸館業務ができるよう努めた。また、有料団体での貸館が増えた感があり、利用に際しての説明を丁寧に行った。	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務等の管理運営についても適正に実施された。貸館対応について、電話等での利用確認が行われた等、丁寧な対応が行われた。 また、緊急時の対応として防災ネットワークを活用し、的確に対応できるよう工夫されていた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	夜間の利用申請には、夜間管理者への連絡が必要であるため、最低2日前の申請をお願いし、前日の申請となった場合は、夜間管理者への連絡を必ず行うよう誰もが気を付けている。自主教室や、まち協事業が優先的に部屋の貸館を利用できることになっているが、有料団体の利用が増えてきている状況から、優先的に利用できる団体であっても、できるだけ早く本申請を行っていただき、なるべく仮押さえの状況を少なくする対応を心掛けた。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守し、利用者との問題もなく適正に実施された。 自主教室に関しては、なるべく多くの方が利用できるように早期の貸館案内や日程を確定させる工夫が行われた。 今後も貸館申請にかかる事務について、丁寧な対応を期待する。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

施設および備品の維持管理等				
評価項目 2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	必要備品の管理について、在庫管理や使用状況を把握するなどして、廃棄処分等も行いながら適切に管理することができた。清掃業務は、夜間管理者とも情報共有し適切に対処することができた。	上半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら、事故無く安全な施設管理に努められた。備品の管理については、引き続き廃棄処分等を行いながら、適正な管理に努められたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	在庫状況をいつも把握しながら、品切れにならないように、また在庫が増えないような管理に努めた。2027年の蛍光管の製造終了を受け、今後の在庫数の的確な把握に努めたい。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定める基準を遵守し、事故なく安全な施設管理が行われた。また夜間管理者の方や職員と連携を取りながら、適切な備品管理に努められた。特に、6月と12月に美化月間を設け、施設的美観の維持の徹底がなされていた。今後も定期的に、備品の使用期限をチェックいただき、適切な管理に努められたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務					
評価項目3	指定管理者の自己評価			市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	事業の告知や、事業中止の連絡が手間なく行えるよう、チラシ等で公式LINE登録者を増やす努力を行った。特に駅前マンションや、まち協非加入の町内会へは公式LINEの登録で情報を届けられるよう対応した。LINEスタンプの発売は、老上をアピールできるひとつの要素になったと考えられる。		上半期評価	公式LINE等を活用し、積極的な情報発信に努められた。今後もチラシの配布等、公式LINEの登録者増加に向けた取組を行い、より多くの人に学区の取組を知ってもらえるよう、情報発信をお願いしたい。
	☆☆☆☆			☆☆☆☆	
	下半期評価	課題解決応援交付金を利用して、玄関正面にサイネージを設置し、避難経路や当日の貸館予定等を表示し、来館者に目に留めていただきやすくなった。事業実施に対する告知や、募集関係もサイネージを利用して、より多くの方に興味・関心を持っていた。		下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、事業を実施された。また地域のニーズに応えた企画・運営の実施が行われた。そして、Googleフォームやサイネージ掲載の工夫、LINEを活用した情報発信に努めていただき、幅広い世代、まち協未加入の町内会等にも情報発信が行われた。
	☆☆☆☆			☆☆☆☆	

評価項目4	組織の管理運営および提出物等にかかる業務			
	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	小中学校のSDGsの取組を受け、地域内の様々な活動の紹介や協力を得て、関係者のつなぎ役としての活動を広げることができた。	上半期評価	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理に努められた。地域の様々な団体のつなぎ役としての役割を今後も引き続き期待する。
	★★★★★		★★★★★	
	下半期評価	特に若い世代の人口増が続く学区において、隣に位置する小学校や、同じ幹線沿いのこども園に通うこども達の保護者に対し、まちづくりセンターの存在を知ってもらい、来館いただけるような仕組みとして、公式LINEの登録を増やし、様々な情報を伝えることに努力した。	下半期評価	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理に努められた。 また封筒やラベル等の節約等がなされ、経費節減の取組が実施されていた。 今後も経理面での徹底した管理体制が行われるよう、期待したい。
	★★★★★		★★★★★	